

P.1・社会人基礎力育成グランプリ2013 中部地区予選大会に出場
(日本経済新聞社主催)
・ジョイントセミナーで敢闘賞受賞！

P.2・経済学部産学官連携フォーラムを開催
・全国ボランティアフェスティバルみえに参加
・全国まちづくりカレッジに参加

P.3・日本テレビが自然環境教育研究会を紹介
・B-1 グランプリに参加
・街頭犯罪の防止啓発イベントに参加
・女性のキャリア形成支援推進セミナー開催

P.4・企業発見バスツアーに参加
・硬式野球部 第8回東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦出場
・第2テニスコートを新設
・四日市大学 facebook 紹介

社会人基礎力育成グランプリ2013 中部地区予選大会に出場(日本経済新聞社主催)

11月28日(水)、日本経済新聞社名古屋支社にて「社会人基礎力育成グランプリ」中部地区予選大会が開催され、11大学の11チームが出場した。本学からは「ETV よっかだい」チームが挑戦した。

この大会は「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の社会人基礎力を学生に身に付けさせるために、大学がどのような特別な活動を行っているかを発表し、その内容を競うもの。「ETV よっかだい」の発表では、最初に新田教授(環境情報学部)が概要趣旨説明を行い、続いて学生の発表、最後に(株)CTY(四日市のケーブルテレビ局)の井上常務取締役が応援スピーチを行った。「ETV よっかだい」は、CTY に月に1本30分の教養番組を制作して放映している。作品のシナリオ作り、撮影、編集という一連の流れを納期内に完結させて納品するという時間との戦いを通じて、社会人基礎力を育成してきたことを発表した。

大会の結果は、残念ながら優秀賞・準優秀賞は逃したが、奨励賞を受賞することができた。約2ヶ月かけて、何度も打ち合わせをし、発表練習を重ねてきただけに、この結果は大変悔しいものであった。来年の飛躍に期待したい。 ETV よっかだいアーカイブズ (http://eis-yokkaichi-u.jp/etv_yokkadai_archives.html)



ジョイントセミナーで敢闘賞受賞！

11月23日(金)～25日(日)に、千葉県館山市でジョイントセミナーが開催された。このジョイントセミナーは、大学間の垣根を越えて、行政学や地方自治を専門とする教員のゼミが合同で行う研究発表合宿で、本学は2003年から参加している。今年のジョイントセミナーには早稲田・法政・拓殖・宇都宮・中央学院・四日市の各大学から学生が参加。本学からは、総合政策学部の岩崎ゼミと小林ゼミの26名が3チームに分かれて参加し、活発な意見交換をした。

1日目は全体会で、「海・地域・政策」という共通テーマをもとに各大学が発表した。本学のチームは「漂着ごみ問題の出口」と題して、伊勢湾岸の漂着ごみが集中する答志島を取り上げ、漂着ごみの処理、抑制の問題点や解決策について発表した。

2日目は3つの部屋に分かれて研究発表が行われる分科会。学生たちが、3部屋でそれぞれ行われている研究発表の中から一番関心のあるテーマを選んで聴くというシステムで、各大学から合計10本の研究発表があった。本学は、三重県の「集落支援モデル構築事業」の一つに指定されている「渡鹿野島振興 PROJECT」と、「港から始まる四日市振興」の2つの研究を発表した。その後、総評と表彰があり、本学の「漂着ごみ問題の出口」が、第3位に相当する敢闘賞を受賞。書籍やインターネットからの情報をもとに、制度や背景なども整理して押さえつつ何度も現場に足を運んだり、様々な関係者からヒアリングしたりと、オリジナリティのある研究発表に仕上がったことが評価された。昨年は入賞を果たせなかったため、今年は大変嬉しい結果となった。

経済学部産学官連携フォーラムを開催

11月16日(金)、本年度で3回目となる経済学部産学官連携フォーラムが三重県中小企業団体中央会と連携して行われた。また同時に、同会が主催する就職説明会も開催された。

フォーラムでは、地元で学んだ大学生が三重県内の中小企業に就職するように、三重県中小企業団体中央会が三重県と連携して実施している「みんなの就職サポートみえ(通称:MSS)」についての話を聞いたり、参加した中小企業のプレゼンテーションを学生が評価したりと、充実した内容となった。就職説明会では、企業との個別面談で真剣にメモを取る学生や熱心に企業の方の話を聞く学生の姿が見られた。



全国ボランティアフェスティバルみえに参加

9月29日(土)、30日(日)の2日間、津市内で行われた「全国ボランティアフェスティバルみえ」に、本学の東村ゼミ(経済学部)や岩崎教授(総合政策学部)が参加した。今回のテーマは「三重からみえる未来の絆」。

初日は三重県総合文化会館にてテーマトークや交流会などが行われた。

2日目は30の分科会に分かれ、三重県内の各会場にてテーマに基づいて意見交換をし、学びを深めた。東村教授とゼミ生は「市民後見—自分らしく生きるために—」をテーマに寸劇を披露し、また、岩崎教授は津会場にて講師・コーディネーターとして「新しい時代の自治を探る—若い世代と熟年世代の対話から—」をテーマに講話した。

本学から参加した学生たちは「劇に参加して、初めて成年後見制度を理解し、その重要性、広報・啓発の必要性を痛感した。」「成年後見制度を広く周知するには、定期的にわかりやすい説明会をすることが重要と感じた。」「市民後見という制度をより多くの方に知ってもらい、うまく活用できる社会を望んでいる。」と語った。

全国まちづくりカレッジに参加

全国まちづくりカレッジ(通称:まちカレ)は、地域と協働でまちづくり活動を行う学生が集まり、交流するための全国大会。今年は、11月17日(土)、18日(日)に伊勢市で開催された。本学を含む全国の11大学と1高校が参加。本学からは、四日市の文化や歴史を映像で残す活動を行うMovie Zooのメンバー7名が参加した。

17日(土)は、伊勢神宮の外宮付近でフィールドワークとワークショップを行った。各大学の学生たちはチームを作ってフィールドワークを行ったあと、「勾玉を利用した外宮参道の魅力づくり」と題して、外宮参道の魅力づくりの提案を行った。

18日(日)は、まず活動報告会が行われ、各大学が自分たちのまちづくり活動を熱心に発表した。その後、鈴木英敬三重県知事が加わり、「大学間の広域的交流の方法」「行政との協力の方法」などについて、各大学の代表者が話し合った。

全国まちづくりカレッジは、13年前に発足し、デザイン・心理学・福祉・経営・経済・社会学など、さまざまな専攻の学生が、まちづくりを考えるユニークな活動をしている。今回、本学は初めての参加であったが、学生自身が全体の企画や運営を行っており、初対面の学生とも打ち解けて交流し、大変有意義な2日間となったようだ。



日本テレビが自然環境教育研究会を紹介

四日市大学自然環境教育研究会の活動が10月16日(火)の日本テレビ「news every.」で取り上げられた。

日本各地の山々でコナラやミズナラの樹木が次々に枯れる、いわゆるナラ枯れが問題になっている。鈴鹿山脈でも害虫によるナラ枯れが随所で起きており、この枯れたナラにカエントケという猛毒のキノコが生えているのが今年の夏に発見された。カエントケは触れるだけでも皮膚に炎症を起こし、食べると中毒症状を起こして最悪の場合は死に至る。四日市大学自然環境教育研究会は、この調査をするとともに、三重県と協力して登山者に注意を呼びかけている。

朝明川源流部のこの地域には約3000本のブナが存在することが研究会の調査で判明しており、今年に入り、これまでに約500本のブナの毎木調査を終えた。年内に600本まで進めることが目標となっている。

B-1 グランプリに参加

10月20日(土)、21日(日)の2日間にわたって北九州市で開催されたB-1グランプリに、今年も総合政策学部の学生13名と教員2名が参加した。B-1グランプリは「B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会(愛Bリーグ)」が主催する、食によるまちおこしのイベント。今回は全国から63団体が出展し、2日間で61万人もの来場者があった。

総合政策学部の小林准教授が代表理事を務めている四日市とんてき協会は、愛Bリーグに正式加盟している団体として2010年から出展している。今回はまちづくりについて学んでいる学生13名と、観光学を専門とする同学部の友原講師も四日市とんてき協会メンバーとして参加した。

メンバー全員が立場を越えて協力し、真剣に自分たちのまちのために取り組んだ。学生たちには、大学生活の中で、こうした経験を積み、地域の中で率先して汗をかける人材に育ててくれることを期待したい。

街頭犯罪の防止啓発イベントに参加

9月30日(日)、犯罪防止啓発イベント「みえ防犯キャンパス」が鈴鹿市で行われた。三重県交通安全・消費生活課の呼びかけで始まり、今回で3回目。今年地域パトロール(通称:地パト)に取り組む本学の学生グループが中心となり実施された。

当日は、地パトのメンバーが大学近くの地区などで行っている夕方の見回りや清掃の成果を発表し、地元との交流活動をしている他大学の学生や専門家を交えて、すぐにできる防犯対策や地域での学生の役割などを話し合った。

村沢大輔実行委員(環境情報学部4年)は「地域を守るには、小さな活動でも始めることが大事。こういう動きが広まるきっかけになれば。」と話した。



女性のキャリア形成支援推進セミナー開催

女性の大学における学びや、社会における働き方について考える場を提供するために、現在は税理士や子育て支援の代表として活躍する本学の卒業生など、外部講師を招いて本学で公開セミナーを開催した。

第1回:10月28日(日)女性が資格をもって仕事をするということとは~税理士と子育ての奮闘記~

第2回:11月19日(月)焦らずに一步前へ~主婦10年後博士課程へ憑~

第3回:11月30日(金)自分の人生は自分のもの~仕事も家庭もどっちも大事~

第4回は2013年1月18日(金)に開催される。詳細は以下の通り。

日時:1月18日(金)13:00~14:30 私が走り続ける理由(わけ) 場所:四日市大学9号館 ※事前申込み不要

企業発見バスツアーに参加

四日市市役所商工農水部主催の企業発見バスツアーが今年も行われ、環境情報学部の子葉ゼミ生(3年)と千葉教授が参加した。この催しは、四日市のものづくりを行う中小企業を訪問し、自分の目で現場を見て、経営者や働いている人々と話をすることで、企業の実像と魅力を知ろうという目的で行われている。今年は11月20日(火)、28日(水)の2日間で行われ、他大学からも熱心な学生たちが参加した。

最初に日本アエロジル(株)を訪問し、二酸化ケイ素である「アエロジル」の説明を受け、工場の制御室などを見学した。また、三重県産業支援センターの高度部材イノベーションセンターを訪問し、研究室や実験施設を見学した後、自動車のゴム部品を製造する日乃出ゴム工業(株)にて、自動車用のゴム部品を効率よく生産するシステムを見学した。参加した学生は、「日本の産業を支える底力を感じた。」と語った。

硬式野球部 第8回東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦出場

10月19日(金)~21日(日)の3日間、岐阜県中津川夜明け前スタジアムにおいて行われた「2012年度東海地区大学野球秋季選手権大会」に四日市大学硬式野球部が創部以来、初めて出場した。3日間で5試合という非常に厳しい日程であったが、選手たちの頑張りにより準優勝を飾り、東海地区第二代表として「第8回東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦」への出場権を獲得した。

三連盟王座決定戦(10月26日(金)~29日(月):瑞穂運動公園野球場)では、北陸地区第一代表の福井工業大学と対戦したが、接戦の末、初戦で敗退した。しかし、目標である「神宮出場」に大きな一歩を踏み出すことが出来た。今後の硬式野球部に期待したい。



第2テニスコートを新設

この度、学内に第2テニスコートが新設された。学生駐車場のすぐそばに設置された3面のコートにはナイター設備も備わっている。学生からは「広くてキレイなコートができて嬉しい。」との声があり、これからもより一層練習に打ち込んでくれることを期待したい。



四日市大学 facebook 紹介

四日市大学ではfacebookのページを開設しています。各ページの「いいね!」を押して、最新情報をチェックしてください。

- 四日市大学 入試広報室 <http://www.facebook.com/YokkaichiU>
- 四日市大学環境情報学部 <http://www.facebook.com/eisyokkaichi>
- メディアコミ@四日市大学(メディアコミュニケーション専攻) <http://www.facebook.com/yu.media.communication>

これまでのPick Up Topicsはホームページでご覧いただけます。

<http://www.yokkaichi-u.ac.jp/examinee/topic.html>

または、四日市大学トップ>大学案内>
ピックアップ・トピックスをご覧ください。

<http://www.yokkaichi-u.ac.jp/>

学校法人 暁学園 四日市大学

【発行】入試広報室

〒512-8512 三重県四日市市萱生町1200
TEL:059-365-6711 FAX:059-365-6630